



衆議院議員

自民党政調副会長 元農水・環境副大臣

小里やすひろ

おざと

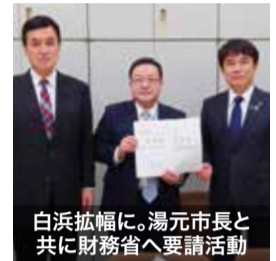
後援会・自民党支部報
衆議院議員小里泰弘後援会
自民党鹿児島県第三選挙区支部
鹿児島事務所
鹿児島県薩摩川内市平佐1丁目10
TEL 0996-23-5888
FAX 0996-23-7111

決める。進める。結果を出す。地元 始良市と共に。
小里泰弘は、市・県と一体となって郷土の事業を力強く推進中です。

地域を元気に。小里やすひろのチャレンジ トピックス 2021

1. 国道10号線渋滞解消へ「白浜拡幅」予算を大幅拡大して推進

国道10号渋滞解消へ昨年度から工事を本格化。鹿児島市仙巖園付近のバイパス工事
も加速します。 【白浜拡幅事業費】令和2年度 4億円 → 令和3年度 15億3000万円



白浜拡幅に。湯元市長と
共に財務省へ要請活動

2. 加治木中央地区まちづくりを国の事業で支援。令和3年度 事業化決定

市・県・国が一体となって。「安全安心で、利便性が高く、世代間交流の進むまちづくり」
をめざして、地域交流センター・図書館・こども館・市道・広場・緑地等の整備を進めます。
【全体事業費】15億1600万円



桜島スマートIC推進に。笹山市長
(当時)と共に国交省へ要請活動

3. 帖佐駅前地区まちづくり事業を国の事業で支援。令和3年度 事業化決定

市・県・国が一体となって「居心地のよい、歩きたくなるまちなかづくり」を目指して、駅前
広場・歩道・無電柱化等の整備を進めます。 【全体事業費】12億1000万円



単人道路4車線化事業着工式で

4. 始良市「桜島スマートインターチェンジ」が完全開通

鹿児島方向出入口、空港方向からの出口に続き、令和3年3月、空港方面への入口が完成
し、完全開通が成りました。



自然ふれあい館落成式で

5. 単人道路(加治木IC～単人東IC)4車線化事業を推進

令和元年11月、待望の4車線化事業に着工。令和4年度から順次供用予定です。
【全体事業費】約250億円



加治木バイパス開通式で

6. 「別府川」に国の「大規模特定河川事業」により抜本的治水事業

始良市市街地を流れ、洪水被害が心配される別府川について、国の「大規模特定河川事業」
により、令和2年度から集中的な治水事業がスタート。 【全体事業費】5億円



上名用水路隧道完成式で

7. 始良西部地区に農業競争力強化農地整備事業を新規に着手

区画整理・用水路の整備等により、担い手が育ち、競争力のある農業を目指します。
【総事業費】9億1700万円

＜始良市と共に。近年の主な取り組み＞

- 重富海岸自然ふれあい館建設事業—環境副大臣として推進 平成27年4月完成
- 国道10号線 加治木バイパス4車線化・高速道路立体交差化事業 平成25年3月完成
- 上名用水路隧道—農業用水確保に地域と一体となって推進 平成30年3月完成
- 市来原地区簡易水道事業—生活用水確保に 平成26年3月完成
- 大型農業基盤整備事業—木田・小山田・船津・春花・米丸・住吉地区等
- 県道伊集院・蒲生・溝辺線改良事業
- 県道十三谷重富線改良事業 など

地域の声が原動力。週末は地元(始良市)に帰り フル回転



加治木町くも合戦で



地域の運動会で



地域のミニ集会で



初午祭



地域の運動会で

花に水、人に心。小里やすひろの歩み



■衆議院議員連続5期当選 皆様の地元の代議士として

- 昭和33年霧島町生まれ。
- 霧島中、鶴丸高、慶応大学
- 野村證券で生きた経済を学ぶ。
- 労働大臣秘書官、震災大臣秘書官、総務庁長官秘書官等務める。
- 平成17年衆議院議員初当選。以来、連続5期当選。
- 薩摩川内市隈之城町在住



衆議院本会議で

■災害と闘う

日本一の治水事業を実現 川内川・米ノ津川が恵みの川へと

平成18年の北薩豪雨災害を受けて、小里やすひろは、築堤、掘削、分水路、ダム再開発、かわまちづくりなど、技術の粋を尽くした「日本一の治水事業」を実現。暴れ川が穏やかな「恵みの川」へと変貌しつつあります。



谷垣財務大臣を現地に案内 (平成18年7月)

東日本大震災対策を主導

当選二期目、東日本大震災に際し、小里やすひろは、自民党震災対策プロジェクトチーム座長に抜てきされ、幾多の現場視察をふまえ、避難所対策から復旧対策まで577項目の対策を民主党政権に提案。その多くが実行されました。



被災地を視察(平成21年3月)

口蹄疫と闘う



豪雨災害対策に



鳥インフルエンザに

赤潮被害対策に



新燃岳噴火対策



台風被害対策に

■夢と希望の持てる農山漁村へ

自民党農林部会 部会長として 失われた農政を取り戻す

当選三期目、民主党から政権を奪還し、自民党の農政の責任者として農業予算を回復。「農地・水・環境保全向上対策」、「飼料米制度」、「畜産増頭対策」、「六次産業化」等、新農政の指針を示しました。



自民党農林部会を指揮 (平成24年12月～)

農業・農村、健保を守る TPP決議をリード

TPP交渉に際し小里やすひろは、安倍総理と正面から向き合い、農業重要五品目や健康保険制度など「国益を守る決議」を策定し現場や国益を守る切り札となりました。



予算委員会で安倍総理と討論(平成25年3月)

農水副大臣・衆議院農水委員長 -現場本位の農政を推進

中山間地農業、小規模農業対策、畜産対策...現場本位の農政を推進。



衆議院農林水産委員会で答弁 (平成30年9月～)

鳥獣被害対策に。ジビエ振興議員連盟を設立

ジビエ(鳥獣肉)利用振興議員連盟を設立。議連幹事長として推進。



ジビエ試食会で

■環境副大臣・内閣府副大臣 震災復興や原子力防災に



原子力防災訓練を指揮



環境国際会議を主催

■政権奪還の最前線に 党副幹事長として



予算委員会で(平成22年2月)

■コロナと闘う

小里やすひろは、コロナ対策チームメンバーとして現場や生活を支援する対策を推進。

- 持続化給付金
- 中小企業資金繰り支援
- 雇用調整助成金
- 学生支援緊急給付金
- 医療提供体制の充実・強化、医療関係者支援
- 子育て世代支援給付金
- 農林漁業者経営継続補助金
- 観光・飲食業需要喚起支援策
- ワクチン接種体制整備等



地域の皆さまと意見交換会 (令和2年4月)

■自民党国土交通部会長として

道路づくり、まちづくり、観光振興、防災...与党の責任者として先頭に立って推進。



国土交通部会を指揮 (令和元年9月～)

現在の主な役職

- ・自民党政調副会長
- ・自民党地方組織・議員総局長
- ・自民党道路調査会副会長
- ・自民党農林食料戦略調査会副会長
- ・東京一極集中打破議員連盟幹事長
- ・西回り自動車道建設推進議員連盟幹事長等

小里やすひろはこんな男

信条 花に水、人に心	スポーツ 剣道・野球
趣味 釣り、読書、政策	尊敬する人物 西郷隆盛
好きな食べ物 たまご、コロッケ	愛読書 西郷南州翁遺訓

小里やすひろの五つの全力

- ①新型コロナウイルス対策を推進しつつ、経済再生を確かなものにします。
- ②生涯安心できる医療・介護・年金・子育て制度を確立し、誰もが活躍できる人生100年社会を創ります。
- ③夢と希望の持てる農林漁業と観光を推進し、元気な地方を創生します。
- ④防災・交通・物流・通信インフラの整備で安全で豊かな暮らしを創ります。
- ⑤国際社会に貢献しつつ日本の平和と国益を守ります。



頼もしい人格者

小里 泰弘
連合後援会長
前薩摩川内市長
岩切 秀雄

「小里さんは、決して人を悪く言わず、引き受けたことは誠実に実現する。頼もしい人格者です」

